

ささゆり通信

「信頼・友情・感謝を大切に
今日も輝け、箕面三中」

令和3年(2021年)5月31日発行
箕面市立第三中学校 学校だより

No. 3

電話 072-723-1151
Fax 072-722-3899

大切にしたい心地よい時間

教頭 岸 範子

5月の中旬に統計史上最も早い梅雨入りを迎えて、今日は5月の最終日。
時間が経つのは、本当に早いものです。

先日、久々に手紙を書く機会がありました。LINE やメールで、伝えたいことがある相手に、瞬時に送信することに慣れてしまっている昨今。手紙を書くのは、実に数年ぶりです。まずは、便箋と封筒を選ぶところから始めました。季節感があって、相手が受け取って喜んでくれるような色や模様を、「どんなのがいいかな～」と考えながら選んでいく時間が、妙に懐かしい気がしました。書いている途中に、漢字を間違えて書き直したり、切手が手元になくて買いに行ったりと、LINE やメールでメッセージを送るよりも、ずっと時間はかかりましたが、その「時間」は、心地よいものでした。

より効率的で、より便利なものが、追い求められ優先されがちな日常ですが、そういったこととは別の、自分が大切にしたい時間を、いつの間にか忘れてしまうことのないように過ごしていきたいものです。

緊急事態宣言の延長等、何かと制約があり鬱屈しがちな生活の中であっても、子どもたちが「心地よい時間」を過ごすことのできる学校づくりを、三中教職員みんなですすめていきたいと考えています。



耳から聴く心地よい時間も！ ～朝の読書タイム 本の紹介～

司書 矢田 純子

三中では、朝の始業前の時間に、1、2年生で10分間の読書タイムを設けています。

8時30分。教室をのぞくと、担任が健康観察チェックをする中、静かに読書をする姿が見られます。

4月から始まった読書タイムで何冊かの本を読み終えた生徒もいるようです。

6月からは、順番に各教室へ、私が本の紹介をしに行きます。

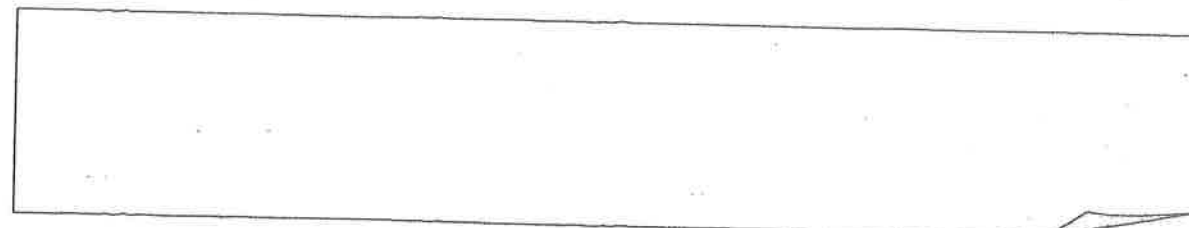
1年生の1巡目は、『このよでいちばんはやいのは』ロバート・フローマン原作の絵本です。

中学生に絵本なんて！と思われるかもしれませんが、小学校から図書の時間などを通じて、絵本を楽しんできている生徒たちは、違和感なく楽しんでもくれます。とてもいい顔をして聴いてくれます。個人で読む読書もいいですが、たまには、誰かに読んでもらう心地よさも忘れないでほしいです。

さて、このよでいちばんはやいものはなんですか？

1年生のみなさん、想像しながら聴いてくださいね。

■教育実習生の紹介（実習期間： ）



■生徒相談週間が始まります

入学・進級から約2か月が経とうとしています。新しい学年、クラスにも、ようやく慣れてきた頃でしょうか。中間考査を終えて、学習面で気になること、友達関係のことなど、担任の先生と一対一で話す良い機会です。自分の「生徒相談日」がいつなのか、しっかりと確認をしましょう。

また、校内では、毎週金曜日にスクールカウンセラー（SC）が来校し、生徒のみなさんと面談ができたり（予約制です）、下記のような相談窓口もあります。

【体罰・セクシュアルハラスメント等相談窓口 担当者】

養護教諭（木場 晴子）、人権教育担当（益住 麻衣）、
生徒指導担当（沖本 隼人・杉浦 唯花）